

No.					市立甲府病院 機能仕様書
Lv1	Lv2	Lv3	Lv4	Lv5	要件項目
32	1				基本機能
32	1	1			認証機能
32	1	1	1		各医療情報システムへアクセスする際の統括ログイン画面となる機能を有すること。
32	1	1	2		端末電源起動時にグループウェアのログイン画面が自動的に起動する設定ができること。
32	1	1	3		システムへのログイン方法はID・パスワードの入力とすること。
32	1	1	4		パスワードの管理については管理者でも利用者のパスワードが確認できないこと。
32	1	1	5		ログインを行う前にメッセージを通知する機能を有すること。
32	1	1	6		パスワード変更に関して利用者に督促できること。また、その日数等はシステムで設定変更ができること。
32	1	1	7		パスワード変更していないユーザにはその旨を通知し、強制的に変更させることができること。
32	1	1	8		パスワードについては禁則設定ができること。(特定文字を3文字以上利用したらログインさせない等)
32	1	1	9		パスワードは複数の禁則設定ができること。
32	1	1	10		パスワードについてある一定期間(過去数回)入力したパスワードを認めない設定ができること。
32	1	2			ユーザー管理
32	1	2	1		全職員を所属ごとに分けてユーザ登録できること。
32	1	2	2		医療情報システム(電子カルテシステムなど)へ職員マスタ連携ができること。
32	1	2	3		職員情報は世代管理ができること。
32	1	2	4		職員情報は有効期限の設定ができること。
32	1	2	5		職員情報の入力項目数は、麻薬施用者、免許、資格番号などを管理者側で項目を自由に設定することに不足ない項目数があること。
32	1	2	6		連携するシステムごとに連携項目の範囲を設定できること。
32	1	2	7		役職について兼務の設定が可能であること。
32	1	2	8		利用者情報のマスタについてCSVデータによる一括登録が可能であること。
32	1	2	9		人事異動などで職制などの変更があっても各職員の個人環境はそのまま引き継げること。
32	1	2	10		組織改訂、人事異動時に人事情報の一括反映ができること。
32	1	3			シングルサインオン機能
32	1	3	1		グループウェアポータルから各医療情報システム(基幹システム及び部門システム)を起動できること
32	1	3	2		IDやパスワードの引渡し方法については複数の方法で行うことができること。(Post等)
32	1	3	3		職種ごとにシングルサインオンする対象システムの表示、非表示を設定ができること。
32	1	3	4		ユーザが統合認証のパスワードを変更した場合、即時に各医療情報システムにもパスワードが連携し、シングルサインオンでログインできること。
32	2				ポータル
32	2	1			院内全体へ通知するメッセージを表示する領域があること。
32	2	2			各機能の到着情報を表示できること。
32	2	3			各機能の詳細画面へ遷移できるリンクが一覧で表示されること。
32	2	4			ユーザ検索、文書検索のポートレットが表示できること。
32	2	5			各機能(スケジュール、TODO、メール、掲示板等)について一定の内容が確認できるポートレットが表示できること。また、どの機能を表示させるかは指定ができること。
32	2	6			表示レイアウト(表示列数、表示する機能、表示場所)を利用者個人で設定できること。
32	2	7			ポータル画面上で表示場所の変更はドラッグ&ドロップなどの操作で容易に変更可能であること。
32	2	8			スケジュールは日表示、週表示切り替え可能であること。
32	2	9			掲示板は到着として表示させる掲示板の日数を設定できること。
32	2	10			定期的に画面の更新を行い、到着情報が表示されること。画面更新の時間は指定ができること。
32	3				スケジュール
32	3	1	1		個人単位でスケジュールの管理・表示が可能なこと。
32	3	1	2		グループ単位でスケジュールの管理・表示が可能なこと。
32	3	1	3		スケジュールは日表示、週表示、月表示の切り替え可能であること。
32	3	1	4		グループは部署単位のほか、各個人で任意の個人を選択し作成することが可能なこと。
32	3	1	5		スケジュールの登録は日単位、時間単位で入力できること。
32	3	1	6		登録したスケジュールは公開・非公開の設定ができること。
32	3	1	7		毎日、毎週、毎月の定期的に繰り返し行われる予定を簡易に入力できること。
32	3	1	8		スケジュールの登録と同時に施設・備品等の予約が同時に可能なこと。施設・備品の予約時は空き状況の確認も同時に行うこと。
32	3	1	9		他のメンバーのスケジュール登録ができること。同時にスケジュールを登録した旨を通知し、通知された利用者は到着情報等から確認できること。
32	3	1	10		ドラッグ&ドロップで予約の操作が可能なこと。
32	3	1	11		CSVファイルに出力が可能なこと。
32	3	1	12		他のメンバーのスケジュールを登録した場合は、承認/拒否の回答が簡易に可能であること。また、登録者は全員の回答が一覧で確認できること。
32	3	1	13		個人、各グループの表示切替が簡易に可能であること。
32	3	1	14		印刷用の専用画面が表示できること。
32	3	1	15		予約の変更、削除は、原則的に予約作成者のみが可能であること。
32	3	1	16		会議等で利用する文書などのファイル添付が可能なこと。
32	3	1	17		添付ファイルについてはドラッグアンドドロップ等の簡易な操作でアップロードできること。
32	3	1	18		代行入力が可能なこと。
32	4				ユーザ検索機能
32	4	1			部署、役職、氏名、ふり仮名からユーザの検索ができること。氏名、ふり仮名の一部で検索ができること。
32	5				予約
32	5	1			時間・日・週単位で施設の予約が可能なこと。
32	5	2			予約状況を日、週、月単位等で表示できること。
32	5	3			施設・備品はカテゴリ(グループ)ごとに登録できること。
32	5	4			ユーザーごとによく使う施設はグループ化できること。
32	5	5			毎日、毎週、毎月の定期的に繰り返し行われる予定を簡易に入力できること。
32	5	6			定期スケジュールの一括登録ができること。
32	5	7			複数日の繰り返し一括登録、一括取り消しができること。
32	5	8			ドラッグ&ドロップで予約の操作が可能なこと。
32	5	9			空き時間の把握ができること。
32	5	10			使用目的、使用所属、申請者、使用予定人数、連絡先などの付属情報の記載が専用欄又は備考欄で入力可能なこと。
32	5	11			施設の予約と同時に他のメンバーのスケジュール登録を行う設定が可能なこと。
32	5	12			自身の予約した設備が一覧で表示し確認が出来ること。
32	5	13			施設ごとに予約登録・更新・削除の権限設定ができること。

32	5	14		予約可能期間設定ができること。
32	5	15		承認が必要な施設予約を可能とすることができること。
32	5	16		CSVファイル、又は画面ハードコピーが可能なこと。
32	6			ドキュメント
32	6	1		ドキュメント管理機能
32	6	1	1	OAソフトで作成したドキュメントおよび画像を登録・更新・参照が可能なこと。
32	6	1	2	ナレッジを誰が見たかの確認できること。（メールの開封確認と同程度の機能を有すること）
32	6	1	3	ドキュメントはフォルダで管理が可能なこと。
32	6	1	4	フォルダごとに組織や個人単位で作成・更新・削除の権限設定が可能なこと。
32	6	1	5	ドキュメントはタイトルでの検索が可能なこと。
32	6	2		ワークフロー機能
32	6	2	1	ドキュメントはワークフローによる承認を行う設定も可能であること。
32	7			掲示板
32	7	1		院内全体へ周知する情報についてユーザが登録・参照可能なこと
32	7	2		掲示板を組織ごとに分けて表示できること。
32	7	3		各掲示板の権限を設定可能なこと。
32	7	4		掲示情報については掲示開始日・掲示終了日の設定が可能なこと。
32	7	5		新着の掲示内容をポータルに表示できること。
32	8			運用管理
32	8	1		各操作（登録、更新、参照）に対して期間指定し、操作履歴を採取できること。
32	8	2		認証ログの成功、失敗の履歴を採取できること。履歴は期間指定により採取できること。
32	8	3		ログイン者、ログインした端末、ログインしたシングルサインオン対象システム、日時などの情報をログ出力できること。
32	8	4		ユーザ登録・削除と同時にメールボックスの開設・廃止が行えること。
32	9			セキュリティ
32	9	1		長時間の離席や操作しないまま一定時間経過する場合のセキュリティ対策が可能なこと。